

知識確認問題

～V.過積載の危険性～

実施日:令和 年 月 日

氏名: _____

【問題 1】

過積載によって、(制動) 距離が長くなります。衝突時の衝撃力は重量とスピードに (比例) して大きくなるため、被害が大きくなります。また、高重心になりやすく、(バランス) を崩しやすくなります。

【問題 2】

過積載によって、下り坂ではスピードが出やすく、ブレーキへの負担が多くなり、ブレーキライニングが加熱してブレーキが利かなくなる (フェード) 現象を引き起こすおそれがあります。

【問題 3】

ディーゼル車の排気ガスには (有害) 物質が含まれているため、光化学スモッグや酸性雨の原因となるだけでなく、人体にも影響をもたらしています。過積載運転では、通常走行よりも低速ギアでエンジンを (高回転) させる走行となるため、(環境) に一層の悪影響を及ぼします。

【問題 4】

過積載運転をすると、道路交通法に基づき、過積載の程度に応じた違反点数や罰金又は反則金が (運転者) に課せられます。大型車で 10 割以上の過積載をしていた場合には、違反点数が 6 点となり、免許 (停止) 処分になるとともに、反則金という行政処分でなく、(6) カ月以下の懲役又は 10 万円以下の罰金という刑事処分を受けることがあります。

【問題 5】

車両が過積載と認められる場合には、警察官より車両の (停止) と自動車検査証や (制限外) 許可証などの提示を求められ、積載物の (重量) 測定が行われます。過積載に対する警察官からの措置として、「過積載分の積荷を降ろす」「代車に積替える」などが命じられます。

【問題 6】

輸送実態としては、荷主の要請、給料への影響などにより、やむを得ず過積載運行を行っている運転者もいます。明らかに過積載であると判断できる場合には、NO とはっきり (断る) ことが大切です。荷積み場所において積載量を超える場合は、運転者から (運行管理者) 等に連絡するようにしましょう。道路交通法では、積載物を積載させる荷主などに対して、過積載車両の運転の要求等が (禁止) されていることをはっきりと説明しましょう。また、過積載を繰り返し行う荷主は、警察からの違反行為の (禁止) を命ぜられます。

出典：自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル（国土交通省）

truck_honpen.pdf (mlit.go.jp)を加工して作成しております。